

いたばし福祉でまちづくりアンケート

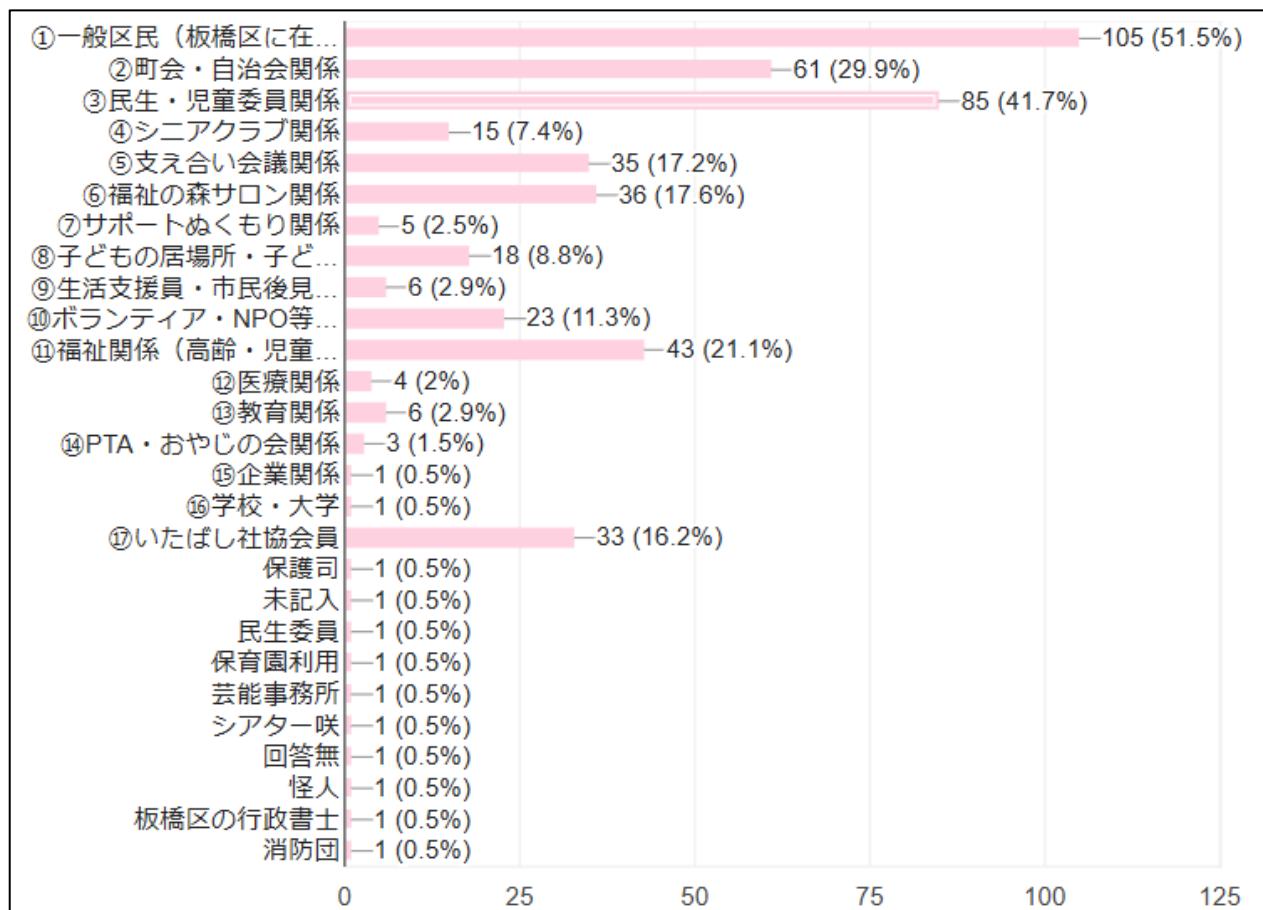
調査結果報告書（速報版）

（第五次板橋区地域福祉活動計画アンケート）

実施概要

目的	地域生活課題や、求められる地域活動、取り組みなどの把握
調査対象	どなたでも
調査方法	We b フォーム または 紙媒体で配布／回収
調査期間	令和7年7月15日（火）～8月15日（金） <u>※『ちいきのためのお話し会』全4回でも、集計をしました</u>
回答結果	回答者数 204件
実施	社会福祉法人 板橋区社会福祉協議会

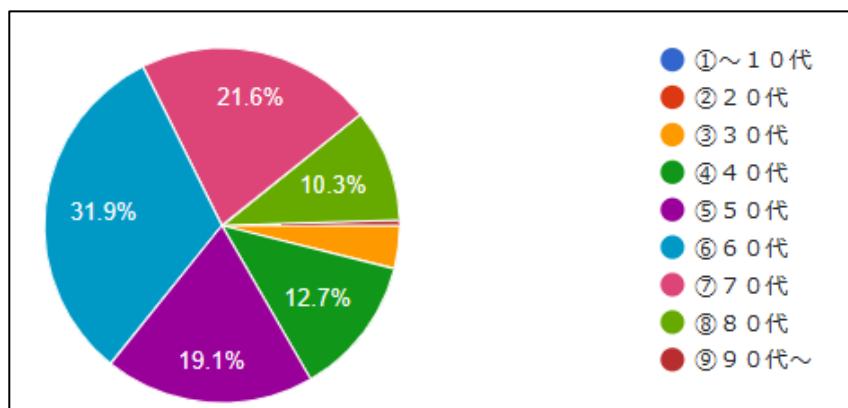
Q1. 所属を教えてください。※複数回答



区分	件数	区分	件数
一般区民	105	サポートぬくもり関係	5
民生・児童委員関係	86	医療関係	4
町会・自治会関係	61	PTA・おやじの会関係	3
福祉(専門職)関係	43	芸能関係	2
福祉の森サロン関係	36	企業関係	1
支え合い会議関係	35	学校・大学関係	1
いたばし社協会員	33	保護司関係	1
ボランティア・NPO 関係等の市民活動団体関係	23	保育園利用者	1
子どもの居場所・子ども食堂関係	18	行政書士関係	1
シニアクラブ関係	15	消防団関係	1
生活支援員・市民後見人関係	6	その他	2
教育関係	6		

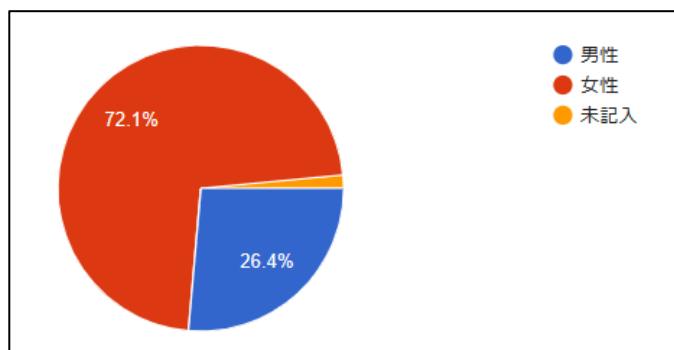
Q2. 年齢を教えてください。

年代	件数
~10代	0
20代	0
30代	8
40代	26
50代	39
60代	65
70代	44
80代	21
90代~	1



Q3. 性別を教えてください。

性別	件数
男性	53
女性	145
未記入	3



**Q4. あなたのまち。板橋区がどんなまちだと素敵だなあ・・・と思いますか？
(選択式・上位10回答)**

	選択肢	件数
1	災害時に助け合える関係性のあるまち	75
2	あいさつやちょっとした声かけなどができるまち	68
3	適度なご近所付き合いがあるまち	62
4	防犯の意識があり 治安がいいまち	59
5	地域のお祭り・イベントがあるまち	51
6	ゆるやかな見守りがあるまち	45
7	困ったことがあったとき 気軽に相談できるまち	41
8	困ったことがあったとき 支え合い助け合えるまち	39
9	いろんな立場の人がいて ふれあい わかりあえるまち	31
10	子どもへの見守りや 支えの手が差し伸べられるまち	30

Q5. あなたが生活しているなかでの困りごとをお聞かせください。（自由記述）

【主な回答を抜粋】

フルタイムで就業中。子どもの長期休みの際のお昼ご飯に困っている。
高学年にもなるとあいキッズにも行きたがらず、作っておいても夏場は衛生面が心配。
有料でも子ども食堂のようなものやお弁当配布が昼時にあるととても良いと思う

役員の高齢化に伴い町会運営が難しくなっている。後継者もなかなか見つからない

若い人の仲間が少ない

生活物資の調達が家の前で出来たり、相談が気軽に出来たりするサービスがあつたらいい。また、高齢者や障がい者、乳幼児は、何処に行くにも移動がネックになるので、ドア～ドアの移動補助があつたら、ということを感じている

シングルマザーなので、子どもの学費、自分の老後、親の介護が必要になった時などいつもお金の心配がある。自分が病気になつたら、収入がなくなる心配が常にある

家族や近所の付き合いが希薄であり、困ったことがあるとちょっとした助けが受けられない
また助けを求めない人がいるが、人間1人では生きていけないと感心している。
ちょっとした助けを借りて安心して生活できるようにして欲しい

地域の方と交流を持ちたいが、そのきっかけがない

転居してきた方とのつながりがない

ひきこもりがちの人が、気軽に立ち寄れて、安心しておしゃべりしたり、食事ができたり、体操したり、学べたりできるカフェが地域に欲しい

外国人の生活習慣の違い

生活や子育てなど、相談窓口がわからない

Q6. なんらかの地域活動のご経験がある方に、活動に関連してお伺いします。

6-1. 関わっている地域活動について教えてください。（自由記述）

※順不同・抜粋

町会・自治会	民生・児童委員	シニアクラブ	支え合い会議
サロン活動	i C S 委員	寺子屋	登校見守り隊
社会福祉施設の職員	ボランティアに参加	あいキッズ職員	P T A 役員
行事の手伝い	地域清掃	子ども食堂	夜間パトロール
地域のお祭りに参加	公園のお掃除に参加	消防団	防災訓練

6-2. あなたが地域活動や生活支援を行うなかで困ったことや社会資源の不足を感じたことはありますか？（自由記述）

【主な回答を抜粋】

一人暮らしの高齢者の方への、ちょっとした手助けに対する介護保険の利用ができないこと
年齢・性別関係なく気軽に集まれる場所があるといい
(施設職員の立場から) 施設を地域の方にもっと活用して頂きたい
問い合わせ窓口が1部署のことが多いので、横断的な組織づくりを推進して欲しい
活動者の高齢化に伴い、次世代へのバトンタッチが必要だが、後継者探しが難しい
支援者を求めている人は沢山いるのに、支援をしてくれる人を見つけるのが難しい
地域と学校がもっと協力し合う関係になればいいと思う
一人暮らしの高齢者が増えてきた
地域には色々な活動をしている方がいるが、町会の住人に情報が届いていない
地域センターの会場費の値上がり
年を重ねてご近所さん(自分自身も)に高齢者が多く、町内の方たちも世代交代をしていかなければ。支え合うことにも限界があると思う。若い世代の方たちと持ちたいと思うが、子育てから遠ざかった今、とても難しい
支援とは言っても、どこまで入り込んでいいのか(独身高齢者など)
困った時に助け合えない、孤立してしまう人が多い

Q7. 誰もが住みやすい地域づくりを推進していくにあたり、板橋区社会福祉協議会や板橋区にどのようなことを期待しますか。(自由記述)

7-1. 板橋区社会福祉協議会に期待すること

【主な回答を抜粋】

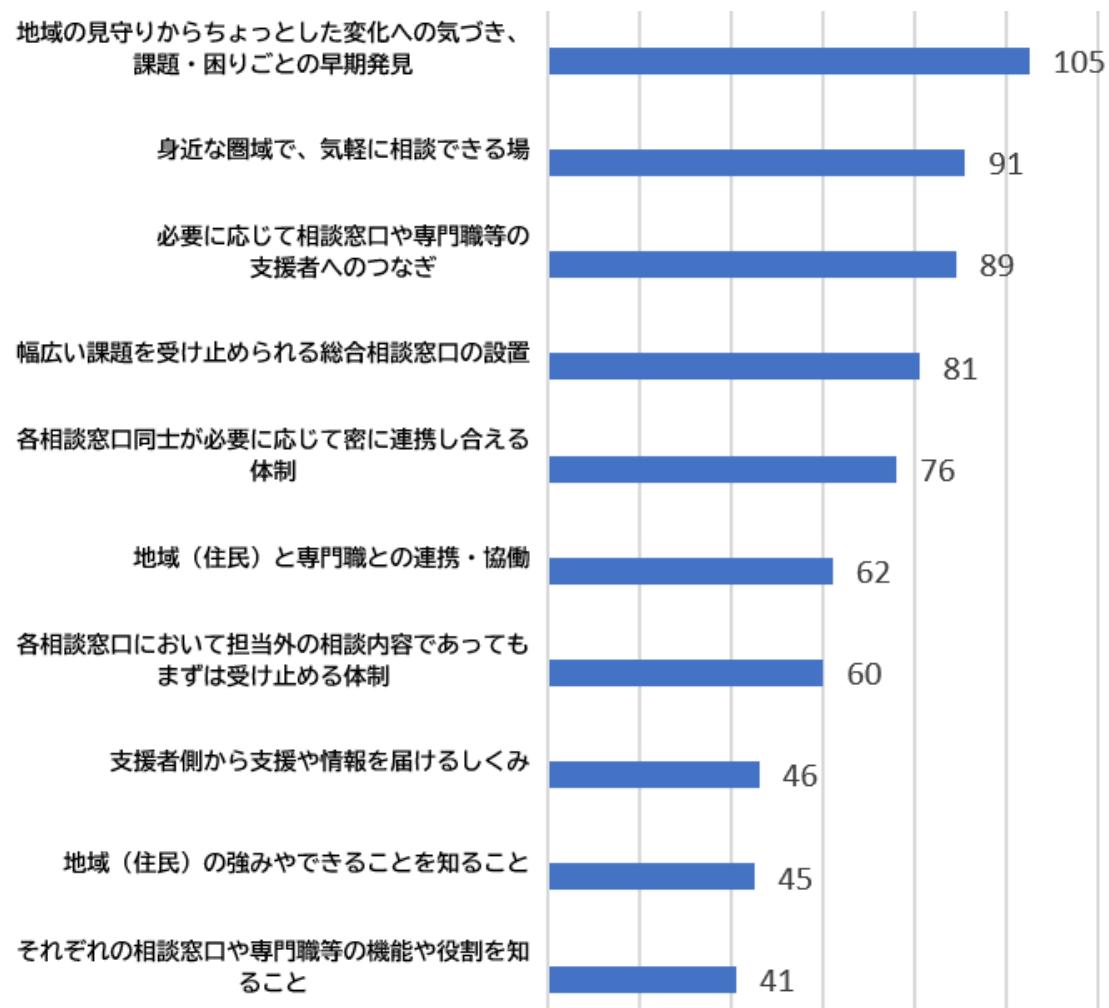
社会福祉協議会自体をアピールし、認知度を高める
一人暮らしの高齢者や、地域で孤立しがちな人への定期的な見守りや交流の場づくり
地域に密着した組織だからこそみえている問題点を、情報共有すること
なんでも相談室の拡大
学校への福祉出前授業。福祉を知り、興味関心を持ってい頂く取り組み
活動者の困りごとの具体的な解決策を打ち出し、実践して欲しい
地域づくりの課題について、もっと多くの方に情報がいきわたるような発信
誰もが気軽に立ち寄れ、情報が得られるスペースを町の中に設置すること
若者が興味を引くような情報発信の工夫
地域住民同士の交流のきっかけとなるようなイベント企画
地域で活動している団体同士のつなぎ合わせ
地域づくりを担う若い人たちへの呼びかけ
住民の困りごとの相談窓口から、専門職の方々への橋渡し
社協の会員継続のお願いと会費の集金に回ったが、会員はほとんど高齢者であった。もっと若者が入会したくなるような情報の発信を期待する。例えば中高生は会費免除で入会できるとか、工夫の余地があると思う
ボランティアまでいかないが、「ちょっとのお節介」みたいなことが、やりやすい環境づくり。その「お節介」を褒める、認める、繋げる取り組み
将来の福祉人材を確保するため、小学校や中学校、区内の高校等への福祉出前授業。まず福祉を知って頂き、興味関心を持ってい頂く取り組み
制度のはざまで支援を受けられない方の受け皿
一人暮らしの方々にも気軽に声をかけ楽しめるイベントを開催して欲しい

7-2. 板橋区に期待すること（自由記述）

【主な回答を抜粋】

区内で様々良い取り組みをしているのに横のつながりが薄いために複雑に見える。 目的、効果、財源など色々あるのだと思うが、力を合わせていただくことに期待
経済的困窮者に対する食に関する支援の拡充。 特に高齢者への対応
複数の課題を抱える人へ、各専門職が連携して問題を解決できる社会
高齢者でおひとりさまがかわいそう、という価値観を変える。高齢者に気軽にできる役割を任せる。子どもは地域の宝、子どもを育てる家庭に優しい地域づくり
若い方々が、結婚をする事や子どもを産み育てる事に不安がなくなるような環境や支援が整つて行く事
そこに連絡すれば必ずどこかにつながる、何でも誰でも相談できる窓口が欲しい
区民の声を聞きやすくし、色々な方々が、行政に関わりを持ち、住みやすいまちづくりをして欲しい
安心安全な暮らしができる街、住みたいと思われる街づくり
社協の取り組みをもっと区の広報媒体を使って周知して欲しい。また、地域を支える担い手になってくれる方の募集や支援を期待
お年寄りと子どもが共存して助け合える安全安心な社会を期待
ワンストップの相談窓口
各課が縦割り活動でなく横につながりもれのない連携を強めて欲しい
なかなかデジタル化が進んでおらず、福祉サービスの情報共有や申請などに手間がかかる。地区により、超高齢化地域やマンション連立による町会加入者の激減など今後安心安全な地域社会が守れるのか大きな不安を感じている。何か良い一手を打って欲しい
規則や法律に基づき業務を行なっていると思いますが、その枠から外れた人達の支援をしっかりとフォローして欲しい

Q8. 地域や日常生活の課題・困りごと等に対応するためには、どのようなことが重要だと思いますか？（複数回答可）（選択式・上位10回答）

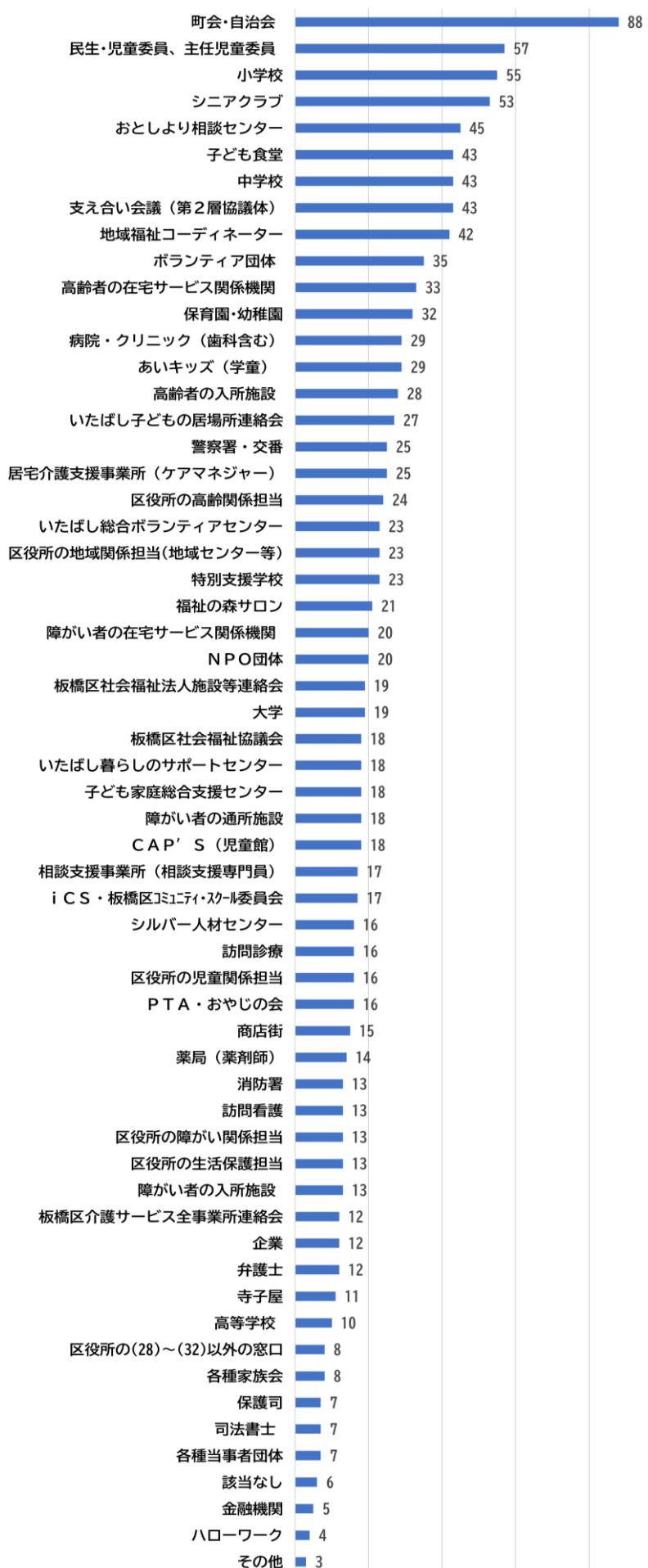


	選択肢	件数
1	地域の見守りからのちょっとした変化への気づき 課題・困りごとの早期発見	105
2	身近な圏域で、気軽に相談できる場	91
3	必要に応じて相談窓口や専門職等の支援者へのつなぎ	89
4	幅広い課題を受け止められる総合相談窓口の設置	81
5	各相談窓口同士が必要に応じて密に連携し合える体制	76
6	地域（住民）と専門職との連携・協働	62
7	各相談窓口において担当外の相談内容であってもまずは受け止める体制	60
8	支援者側から支援や情報を届けるしきみ	46
9	地域（住民）の強みやできることを知ること	45
10	それぞれの相談窓口や専門職等の機能や役割を知ること	41

Q9. 今後、つながりや関わりを持ちたい、またはこれまで以上に連携を深めたいと思う団体や機関、専門職等を教えてください。

(表は上位 10 件)

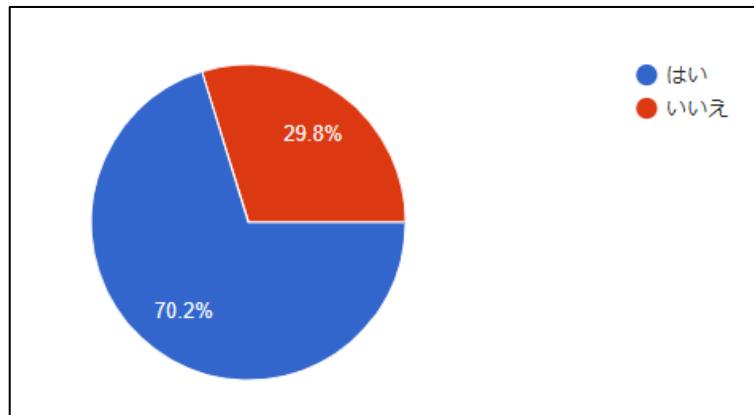
		(件)
1	町会・自治会	88
2	民生・児童委員、主任児童委員	57
3	小学校	55
4	シニアクラブ	53
5	おとしより相談センター	45
6	子ども食堂	43
7	中学校	43
8	支え合い会議 (第 2 層協議体)	43
9	地域福祉コーディネーター	42
10	ボランティア団体	35



Q. 10 地域には、様々な理由から社会とのつながりを持ちたいのに、持てない、と感じている方や社会とのつながりが希薄になっている方がいます。

10-1. 必要な情報が届いていない、または、必要な支援ができていない方がいらっしゃると感じることはありますか？

回答	件数
はい	132
いいえ	56



10-2. 10-1.で「はい」とお答えの方にお伺いします。その方はどのような方ですか？

(自由記述)

【主な回答を抜粋】

近所の付き合いもなく、自治会とのつながりもなく、ひきこもりに近い一人暮らしの高齢者がいた
町会に不参加していない人や、引っ越ししてきたばかりの人
仕事や育児で忙しい人
高齢の親と暮らす障がい者
高齢、または子育てが終わり地元を離れた方など（例えば、高齢者であれば子どもの元に転居したなど）は、周りに友だちや知り合いがない。友だちに会いたくても場所が離れている、また体の自由がきかないで会えない等で昼間ひとりのことが多く、地域に馴染めないと孤独を感じている方がいる
高齢者訪問調査で、訪問拒否をされる独居の方
マンション住まいの男性の一人暮らしの高齢者の中に、近所の付き合いもなく、自治会とのつながりもなく、ひきこもりに近い人がいた
自分で助けを求めることができない方
独居、親族との関係が薄い、地域との関係が薄い

10-3. 10-1.で「はい」とお答えの方にお伺いします。その方に、どのようなつながりや支援等があると良いと感じますか？（自由記述）

【主な回答を抜粋】

一人暮らしの方向けの、区からのメールサービスや、LINEの情報サービス
掲示板の設置増設、集合住宅の掲示板の利用を進めていく
気軽に相談できるところ
出向く相談室の拡充
町会などの会員になっていただくことで、回覧板などで必要な情報が届くのではないか
地域支援（福祉の森サロンなど）があることを知っていただき、集まりに参加していただくことでつながりが出来、孤立感も軽減出来るのでは
何か困った時に気軽に相談や話を聞いてもらえる場。必要あれば各専門機関につなぐことができる場
例えば病院等でサポートが必要な人を適切な担当につなげる
サロンや区役所の子ども支援で助けてもらった。まだ十分な認知や受け入れ態勢が整備されていないと思う
ゆるやかなつながり
見守りの役割を取れる方の配置
小中学校の一般の教員などに主任児童委員のことがまだ知られていない教員が多い
社協への入会を勧め、サロンマップを渡したりしたが、それ以上のことはしていない。こうした人への支援にはタイミングが重要だと思う

Q11. なんらかの地域活動のご経験がある方にお伺いします。あなたが思う地域活動の魅力にはどのようなものがありますか。(複数回答可・上位10回答)



	選択肢	件数
1	いろいろな人とのコミュニケーション	125
2	活動を通してひろがる人間関係	108
3	誰かの役に立てる幸福感・充実感	78
4	災害時にも生きるつながりづくり	65
5	住みやすいまちづくりへの寄与	63
6	地域の活性化への寄与	56
7	地域の状況や課題についての理解が深まる	52
8	自分自身のスキルや魅力の向上	26
9	自己実現	15
10	地域の歴史や文化を学ぶ	14
10	活動団体への帰属意識	14

Q12. 地域で日常生活を送るうえで心配な方や困っている方がいたら、あなた（貴団体）が「できること」にはどんなことがあると思いますか。（自由記述）

【主な回答を抜粋】

見かけたら声をかける。
地域で心配な方を発見するなど見守りの活動
よく話を聞く。
対等の話し相手になる。
話を聞いて該当する相談窓口につなげる。
内容により、区・おとしより相談センター・社協へ相談することを促す
子ども食堂を通じて食事を提供すること
声かけをし、つながりを持てるようにアドバイスを行う。
わかる範囲で情報収集し、提供する
フードバンクや寄附など
シニアクラブ連合会などの組織に入会することを勧める。
常に声かけして温かい心遣いが大切。寄り添ってあげられる心。
最初の受け入れ窓口であり、関係機関へつなぐ役割
相談機関等への連携や、その紹介



いたばし福祉でまちづくりアンケート

板橋区社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを推進するため、みんなの「できること」を少しずつ持ち寄り、地域にある様々な困りごとや課題を解決していく取組みを進めています。

これらの取組みは、板橋区地域福祉活動計画に基づいて計画的に進められています。現在、令和8年度から始まる5年間の新しい計画（第5次板橋区地域福祉活動計画）を策定しています。

この計画は、地域の皆さまの様々なお声に基づき、地域の皆さんと一緒に策定していくことが肝要です。つきましては、本アンケート調査にご協力のほどよろしくお願ひいたします。

※ ご回答に要するお時間は10分程度です。

※ 本アンケートは基礎資料として「板橋区地域福祉に関するアンケート調査 調査報告書(令和7年2月)」を参考にしています。

調査期間と調査方法

調査対象：どなたでも

調査期間：7月15日（火）から8月15日（金）まで

調査方法：Google フォームまたはアンケート用紙による調査

1. あなたの所属についてお尋ねします。該当するもの全てに☑してください。

- ① 一般区民（板橋区に在住・在勤・在学）
- ② 町会・自治会関係
- ③ 民生・児童委員関係
- ④ シニアクラブ関係
- ⑤ 支え合い会議関係
- ⑥ 福祉の森サロン関係
- ⑦ サポートぬくもり関係
- ⑧ 子どもの居場所・子ども食堂関係
- ⑨ 生活支援員・市民後見人関係
- ⑩ ボランティア・NPO等の市民活動団体
- ⑪ 福祉関係（高齢・児童・障がい・その他）
- ⑫ 医療関係
- ⑬ 教育関係
- ⑭ P T A・おやじの会関係
- ⑮ 企業関係
- ⑯ 学校・大学
- ⑰ 板橋社協会員
- ⑱ その他（)

2. あなたの年代についてお尋ねします。該当するものに☑してください。

【 ~10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代～ 】

3. 性別についてお尋ねします。ご回答は任意です。

【 男性 ・ 女性 ・ その他 】

4. あなたのまち。板橋区がどんなまちだと素敵だなあ・・・と思いますか？

(※ 複数回答可 優先度の高いもの 3つまで☑してください。)

- ① ゆるやかな見守りがあるまち
- ② あいさつやちょっとした声かけなどができるまち
- ③ 適度なご近所付き合いがあるまち
- ④ 困ったことがあったとき 気軽に相談できるまち
- ⑤ 困ったことがあったとき 支え合い助け合えるまち
- ⑥ 望まない孤立状態の方がいないまち
- ⑦ 防犯の意識があり 治安がいいまち
- ⑧ いろんな人がいて 受け入れられるまち
- ⑨ ありのままの自分でいられるまち
- ⑩ 人のにぎわいや活気のあるまち
- ⑪ 地域のお祭り・イベントがあるまち
- ⑫ 気軽に安心して遊べる場があるまち
- ⑬ みんながまちをきれいにしようと思うまち
- ⑭ いろんな立場の人がいて ふれあい わかりあえるまち
- ⑮ 子どもへの見守りや 支えの手が差し伸べられるまち
- ⑯ 災害時に助け合える関係性のあるまち
- ⑰ その他 ()

5. あなたが生活しているなかでの困りごとをお聞かせください。

(※ 自由記述)

6. なんらかの地域活動のご経験がある方に、活動に関連してお伺いします。

6-1. 関わっている地域活動について教えてください。

(※ 自由記述)

6-2. あなたが地域活動や生活支援を行うなかで困ったことや社会資源の不足を感じたことはありますか？どんなことでも構いませんので記述をお願いします。
(※ 自由記述)

7. 誰もが住みやすい地域づくりを推進していくにあたり、板橋区社会福祉協議会や板橋区にどのようなことを期待しますか。

(※ 自由記述)

7-1. 板橋区社会福祉協議会に期待すること

7-2. 板橋区に期待すること

8. 地域や日常生活の課題・困りごと等に対応するためには、どのようなことが重要だと思いますか？

(※ 複数回答可 該当するもの全てに☑してください。)

- ① 地域の見守りからのちょっとした変化への気づき 課題・困りごとの早期発見
- ② 地域（住民）の強みやできることを知ること
- ③ 身近な圏域で、気軽に相談できる場
- ④ 必要に応じて相談窓口や専門職等の支援者へのつなぎ
- ⑤ それぞれの相談窓口や専門職等の機能や役割を知ること
- ⑥ 地域（住民）と専門職との連携・協働
- ⑦ 幅広い課題を受け止められる総合相談窓口の設置
- ⑧ 各相談窓口において 担当外の相談内容であってもまずは受け止める体制
- ⑨ 各相談窓口同士が必要に応じて密に連携し合える体制
- ⑩ 支援者側から支援や情報を届けるしくみ
- ⑪ その他 ()

9. 今後、つながりや関わりを持ちたい、またはこれまで以上に連携を深めたいと思う団体や機関、専門職等を教えてください。

(※ 複数回答可 該当するもの全てに☑してください。)

- | | |
|------------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ①町会・自治会 | <input type="checkbox"/> ⑥小学校 |
| <input type="checkbox"/> ②民生・児童委員、主任児童委員 | <input type="checkbox"/> ⑦中学校 |
| <input type="checkbox"/> ③シニアクラブ | <input type="checkbox"/> ⑧高等学校 |
| <input type="checkbox"/> ④支え合い会議（第2層協議体） | <input type="checkbox"/> ⑨大学 |
| <input type="checkbox"/> ⑤保育園・幼稚園 | <input type="checkbox"/> ⑩特別支援学校 |

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| □(11)あいキッズ（学童） | □(36)いたばし暮らしのサポートセンター |
| □(12)C A P' S（児童館） | □(37)病院・クリニック（歯科含む） |
| □(13)P T A・おやじの会 | □(38)訪問診療 |
| □(14)寺子屋 | □(39)訪問看護 |
| □(15)i C S・板橋区コミュニティ・スクール委員会 | □(40)薬局（薬剤師） |
| □(16)子ども食堂 | □(41)金融機関 |
| □(17)ボランティア団体 | □(42)弁護士 |
| □(18)N P O団体 | □(43)司法書士 |
| □(19)各種当事者団体 | □(44)保護司 |
| □(20)各種家族会 | □(45)警察署・交番 |
| □(21)高齢者の入所施設 | □(46)消防署 |
| □(22)高齢者の在宅サービス関係機関 | □(47)ハローワーク |
| □(23)居宅介護支援事業所（ケアマネジャー） | □(48)シルバー人材センター |
| □(24)障がい者の在宅サービス関係機関 | □(49)企業 |
| □(25)障がい者の通所施設 | □(50)商店街 |
| □(26)障がい者の入所施設 | □(51)いたばし子どもの居場所連絡会 ※1 |
| □(27)相談支援事業所（相談支援専門員） | □(52)板橋区社会福祉法人施設等連絡会 ※2 |
| □(28)区役所の生活保護担当 | □(53)板橋区介護サービス全事業所連絡会 ※3 |
| □(29)区役所の高齢関係担当 | □(54)板橋区社会福祉協議会 |
| □(30)区役所の障がい関係担当 | □(55)地域福祉コーディネーター |
| □(31)区役所の地域関係担当（地域センター等） | □(56)いたばし総合ボランティアセンター |
| □(32)区役所の児童関係担当 | □(57)福祉の森サロン |
| □(33)区役所の(28)～(32)以外の窓口 | □(58)その他（ ） |
| □(34)子ども家庭総合支援センター | □(59)該当なし |
| □(35)おとしより相談センター(地域包括支援センター) | |

※1…子どもの居場所活動団体や支援団体、専門職機関等で構築される子ども支援の連絡会。

※2…板橋区内の社会福祉法人施設等が一体的に地域公益活動を進めるための連絡会。

※3…会員相互の連携により、介護サービスの質の向上や地域の信頼獲得をめざす事業所の連絡会。

10. 地域には、様々な理由から社会とのつながりを持ちたいのに、持てない、と感じている方や社会とのつながりが希薄になっている方がいます。

10-1. 必要な情報が届いていない、または、必要な支援ができていない方がいらっしゃると感じることありますか？

【 □ はい ・ □ いいえ 】

10-2. 10-1.で「はい」とお答えの方にお伺いします。その方はどのような方ですか？

(※ 自由記述)

10-3. 10-1.で「はい」とお答えの方にお伺いします。その方に、どのようなつながりや支援等があると良いと感じますか？
(※ 自由記述)

11. なんらかの地域活動のご経験がある方にお伺いします。あなたが思う地域活動の魅力にはどのようなものがありますか。

(※ 複数回答可 該当するもの全てに☑してください。)

- ① 誰かの役に立てる幸福感・充足感
- ② いろいろな人とのコミュニケーション
- ③ 住みやすいまちづくりへの寄与
- ④ 地域の活性化への寄与
- ⑤ 活動を通してひろがる人間関係
- ⑥ 活動団体への帰属意識
- ⑦ 自分自身のスキルや魅力の向上
- ⑧ 自己実現
- ⑨ 災害時にも生きるつながりづくり
- ⑩ 地域の歴史や文化を学ぶ
- ⑪ 地域の状況や課題についての理解が深まる
- ⑫ その他 ()

12. 地域で日常生活を送るうえで心配な方や困っている方がいたら、あなた（貴団体）が「できること」にはどんなことがあると思いますか。

(※ 自由記述)

13. その他、なにかございましたらご自由に記入ください。

(※ 自由記述)

調査にご協力いただき
誠にありがとうございました



本調査の問合せ先

社会福祉法人 板橋区社会福祉協議会 活動計画策定担当

TEL : 03-3964-0235 FAX : 03-3964-0245 E-MAIL : info@itabashishakyo.jp

いたばし社会キャラクター
こまこま